

第十回

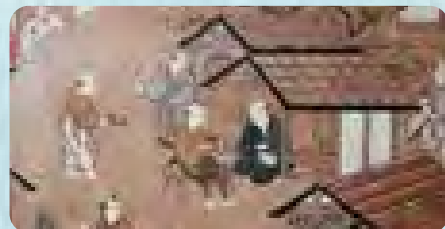
猿楽の時代と

闘茶展

今年も「食」文化を知る上で欠くことのできないお茶について詳しく取り上げます。今から約六百年前の衣・食・住をのぞいてみませんか。

2014年7月1日(火)～7月20日(日)

会場：あけぼのパーク多賀 ギャラリー



「多賀大社参詣曼荼羅図」多賀大社所蔵

関連イベント「闘茶会」

お茶の飲み比べに挑戦してみませんか？

7月20日(日)11:00～15:00

会場：あけぼのパーク多賀 ギャラリー

11:00～闘茶にチャレンジ

11:40～第1回闘茶3本勝負

12:00～闘茶にチャレンジ

13:00～「闘茶のおはなし」

大槻暢子(滋賀県立安土城考古博物館学芸員)

13:40～第2回闘茶3本勝負

14:00～闘茶にチャレンジ

★「闘茶3本勝負」は事前申込が必要です。参加を希望される方は多賀町立博物館までお電話ください。各回定員5名となります。また、13時からは安土城考古博物館学芸員の大槻さんに「闘茶のおはなし」をしていただきます。「闘茶にチャレンジ」はどなたたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。

能・狂言は近世まで猿楽と呼ばれていました。各地の社寺を舞台に活動する猿楽座があり、世阿弥の『申楽談儀』によれば中世初期、近江には六つの座があり、そのうち一番古い歴史を持つ座が今の多賀町敏満寺にあった敏満寺座(北坂座)であると伝えられています。

今回の展示会では、中世の文化と風習に関する資料を展示し、この時代に流行した「闘茶」を開催いたします。

「闘茶」とは、鎌倉時代末期、公家、社寺、武家間で、茶の産地を飲み当てるという賭け事をした娯楽的な寄り合いのことです。豪華で優美な遊びであったと伝えられています。今回は、現代風にアレンジし、体験を通じて当時の時代に触れていただくことができます。

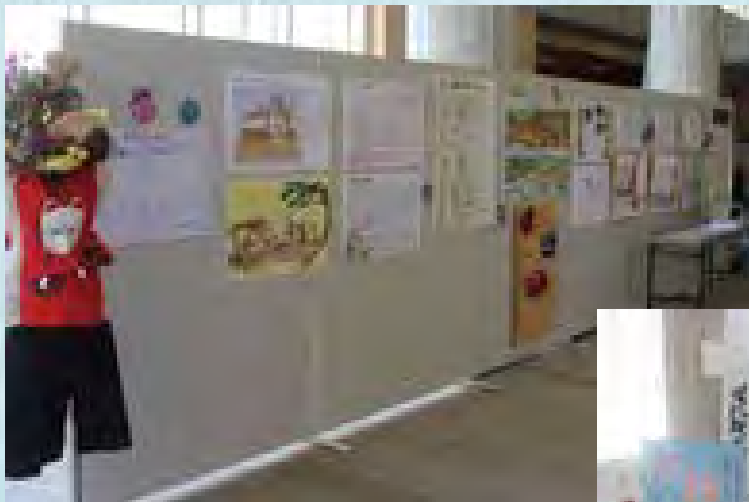
当日は、景品も用意しておりますので、お気軽にご参加ください。お待ちしております。

近江猿楽多賀座

主催 近江猿楽多賀座
共催 あけぼのパーク多賀 多賀町立博物館
協力 近江和装株式会社・多賀観光協会
お問い合わせ あけぼのパーク多賀 多賀町立博物館 TEL 0749-48-2077



昨年の展示と闘茶会の様子…



今年の闘茶会は 7 月 20 日（日）に開催します。13 時から安土城考古博物館
 学芸員の大槻暢子さんに「闘茶のおはなし」をしていただきますので、皆さんお
 気軽にご参加ください。

◎「茶勝負」の記録―

11 人の参加者による 10 本勝
 負の記録

木	山	楓	竹	松	桜	梅	月	風	鳥	花
ニ	ニ	ニ	ウ	ニ	ニ	ニ	ウ	三	ニ	ニ
一	一	ウ	ニ	一	一	一	ニ	ニ	一	一
三	ニ	三	三	ウ	三	三	三	ウ	三	三
三	三	ニ	一	一	ウ	ニ	ニ	三	ウ	ニ
ウ	三	一	ニ	三	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
ニ	一	一	ニ	ニ	一	一	一	一	一	一
ニ	ウ	ニ	ニ	ニ	三	ニ	三	三	三	ウ
五種	十種	四種	二種	五種	三種	四種	四種	三種	四種	三種

延徳三年正月廿一日
 記十種茶勝負
 新殿方へ御出時御興行御茶
 御人数十一人、仍如件、
 十種茶勝負

日本における闘茶とは、茶歌舞伎や茶寄合とも呼ばれるもので、お茶を飲んでその産地
 を当てる遊びです。当初は明恵上人が始祖とされる梅尾茶を「本茶」と呼び他の産地のお茶
 を「非茶」として識別する事から始まりました。当時、梅尾茶は「天下一の茶」として珍重
 されていたのです。南北朝の動乱期になると、闘茶はより遊興的な色彩が濃くなり、酒や食
 事を持ち込んだり豪華な賞品を賭ける賭け事が行われたりしました。